

平成 30 年度 自己評価書（設置者・園長等 管理職編）

◎保護者に伝わる発信方法への取り組み

ブログの写真掲載は以前よりこまめに行われているが、保護者からは「ホームページの更新が少ないのでは」という意見がある。時期によって偏りが出る点は、改善に至っていない。週案を立てる際に、何を更新するかを決めて、週 1 回は更新できるように取り組むという意見があるが、周知徹底に至っていない。一部の保育者の心がけに留まらず、各学年に広げる必要がある。

◎幼児の体力の向上

29年度の伝達が十分でなく、遊びや活動の大切さが全体に伝わっていない事もある。研修に参加し、知識を深めているが実践する機会が少ない。朝礼時にリズム運動の実践、伝達を行い、周知に努めているが、今後も続け、空き時間の有効な利用で保育者、幼児ともに体力向上の意識を持続、向上させる必要がある。

◎子どもが主体的に取り組める保育環境作りに務める

絵画の見直しから、日々の保育に関しても環境や保育の進め方など考慮してきている。変えてきたことに関しての振り返りや考察を詰めていく必要がある。

まだ、保育者主導の「進めていく保育」も多い。もっと子ども主体を意識し、実践していく必要がある。3学年の繋がりを考え報告し合って学年だけにとどまらないようにする。今後は縦割り活動も視野に入れていく必要がある。

◎年間計画に沿って訓練を行い、安全・防犯・防災の対策強化

子どもに訓練時の動きが身についてきている。訓練においても突然を装うので、変化に弱い子ども(特別支援児)の対応が問題提起された。個別支援の必要な子どもについては事前の打ち合わせと周知がいる。

今までに経験のない場面での訓練(例：昼食中など)や前もって子どもに知らせずに行う回も必要であろう。マンネリ化して危機感が薄まらないよう工夫がいる。